

III

地理総合・地理探究

(I) 西アジアに関する以下の問い合わせ(問1～問3)に答えなさい。

問1 乾燥地での穀物生産には灌漑が重要である。次の表1は、西アジアのいくつかの国における穀物作付面積と穀物自給率を示したものであり、A～Cは、イラク、イラン、サウジアラビアのいずれかである。この表について以下の問い合わせ(a)～(b)に答えなさい。

表1

国	穀物作付面積(千ha)	穀物自給率(%)
A	1,179	68
B	214	10
C	8,108	67

FAOSTAT(2022年)などにより作成。

- (a) A～Cに該当する国名をそれぞれ答えなさい。
- (b) 灌漑の方法は、地域の自然条件や社会経済条件によって異なる。それぞれの国の乾燥地で典型的に見られる農業用水確保の取り組みについて、その具体的方法と背後にいる地理的条件に必ずしも言及して、説明しなさい(150字程度)。

問 2 次の図1は、西アジアの二つの国における人口推移を示したものであり、EとFは、イエメンとカタールのいずれかである。両国ではともに人口が急増しているが、その理由は異なる。EとFに該当する国名を述べたうえで、それぞれの人口増加の主な理由について、図の下の語群の語をすべて用い、両国を対比させながら説明しなさい(100字程度)。

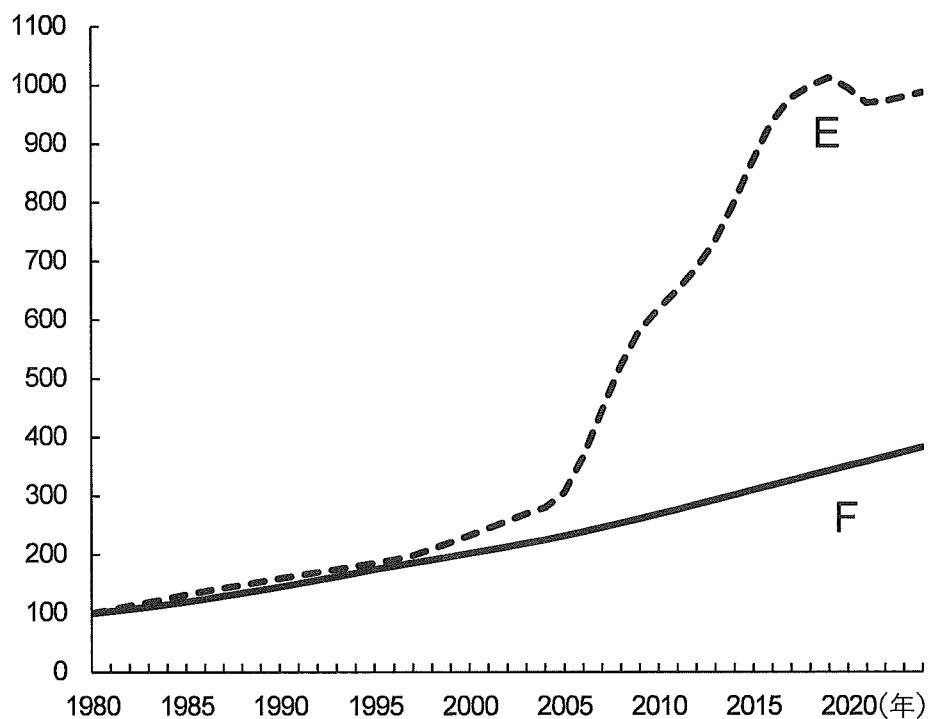


図 1

UN World Population Prospects により作成。

1980 年を 100 として指数化した。

【語群】 人口転換 社会増

問 3 西アジアは国際貿易上、重要な地域である。これに関する以下の問い((a)～(b))に答えなさい。

(a) 次のページの図2はアラビア半島の東西の海峡を示したものであり、それぞれの海峡を通過する船舶について、表2は1日あたり貨物量の推移、表3は種類別の割合を示したものである。表2中のXとYは、ホルムズ海峡とマンダブ海峡のいずれか、表3中のアとイはコンテナ船とタンカーのいずれかである。X、Y、ア、イに該当する語句を答えるとともに、その判断の理由について、それぞれの海峡を通過する船舶の発着地や輸送される商品にも言及して説明しなさい(150字程度)。



図 2

表 2

	X 海峡	Y 海峡
2022 年	7,191	4,574
2023 年	6,988	5,068
2024 年*	6,321	1,641

(単位：千トン)

IMF の資料により作成。

*2024 年は、5 月までの値。

表 3

	X 海峡	Y 海峡
ア	61.9	32.8
イ	15.0	27.9
それ以外	23.1	39.3

(単位：%)

IMF の資料により作成。

データは 2019 年～2023 年。

(b) 2010 年代以降、世界の石油輸出における西アジアの占める割合は低下している。その理由を説明しなさい(50 字程度)。

(II) ヨーロッパの河川であるライン川とその流域に関する以下の問い合わせ(問1～問4)に答えなさい。

問1 次の図3は、ライン川とその周辺地域を示したものである。なお、一部の河川は描画を省略してある。この図を参考にしながら、ライン川の上流部で、その流路の方向が大きく変わっている原因について説明しなさい。その際、地形とその成因について必ず言及すること(100字程度)。



図3

問2 ライン川は複数の国の領域を流れている。このような河川を何というか、名称を答えなさい。

問 3 前のページの問 2 で問うた特徴を持つ河川に関して、その流域における社会経済への影響について説明しなさい(150 字程度)。

問 4 ライン川流域では、19 世紀以降に重工業が盛んとなり、ルール工業地帯などで工業集積が見られた。一方で、とくに 1980 年代以降のヨーロッパでは、広域におよぶ「ブルーバナナ(青いバナナ)」といわれる地域が形成されてきた。ブルーバナナに関して、その範囲と産業の特徴についてルール工業地帯の状況を含めて説明しなさい(200 字程度)。